

鴻巣市放課後児童クラブ入退室管理システム導入事業  
企画提案書作成要領

令和7年4月

鴻巣市こども未来部こども応援課

## 1 様式及び留意事項

- ・「企画提案書」は、簡易製本したものを作成し、代表者印を押印した正本1部、副本（写し）7部提出すること。
- ・表紙の表題は「鴻巣市放課後児童クラブ入退室管理システム導入事業に係る企画提案書」とし、提案者の企業名称を適当な位置に記載すること。
- ・用紙はA4判とし、縦置き横書き（左綴じ）両面印刷で製本すること。ただし、図表等の表現の都合上、用紙の方向を一部変更したり、記述方向を一部縦としたりすることは差し支えない。
- ・頁数は30頁までとし、頁番号は各頁の下部中央に、目次を除いた部分を通し番号とすること。A3判の用紙については2頁カウントする。なお、表紙及び目次は枚数に含めない。
- ・文字のポイントは、原則として11ポイント以上とし、見やすさ、分かりやすさを心がけること。
- ・提案見積書は、「様式6 費用見積書」を使用し、代表者印を押印したうえで封筒に入れて封緘し、1部提出すること。また、貴社所定様式の見積書を別添し、金額の合計は様式6と同額となるよう作成し提出すること。
- ・電子データとして提出する企画提案書の形式はAdobe社のPDFファイル形式とする。
- ・価格、提案内容等のバランスを総合的に評価するため、提案見積額は内部に公表する。
- ・企画提案書類の記述にあたっては、様々な部署の職員が説明を要せずとも企画提案書を読んで理解できる内容とすること。
- ・作成要領の項目ごとに対象とする提案を行うこと。
- ・記載は当該項目内で完結すること。
- ・使用する言語は日本語、単位は計量法（平成4年法律第51号）に定めるもので、通貨単位は円、時刻は日本標準時とする。
- ・企画提案書に記載する内容は、全て本業務における実施義務事項として提案事業者が提示するものであり、実施義務事項でなく、参考として記載が必要な場合には【参考】と明示し、混同する可能性を排除すること。

## 2 企画提案書

企画提案書については、次の各号に示す記載項目及び項目順番を遵守して提案内容等を記載すること。

なお、提案にあたっては、「仕様書」の要件について、すべて満たすこと。

### (1) 提案するシステムの導入実績

提案する業務の受託実績（自治体名）及び稼働年月を記載すること。

### (2) 個人情報保護・情報セキュリティ要件について

調達仕様書に示す「個人情報保護・情報セキュリティ要件」に基づき、システム上および通信上のセキュリティ対策を記載すること。

(3) 追加提案

提案費用の範囲内で実現可能な提案を記載すること。

(4) 運用サポートについて

- ア システム稼働後の運用サポート体制、障害・緊急時の対応方針等について記載すること。
- イ システム稼働後の職員・保護者の操作サポートについて記載すること。

(5) プロジェクト推進体制・管理方法について

- ア 調達仕様書に示す「作業の体制及び方法」に基づき、プロジェクト実施体制を記載すること。
- イ 本業務に携わる従事者について、以下の項目を記載すること。  
氏名、所属、役職、経験年数、本業務における役割、本業務における関わり度合（「専任 or 兼務」）、過去5年間に携わった同様業務の内容（自治体名・業務内容・役割）、手持ち業務の内容（自治体名・業務内容・役割）。
- ウ 各プロセスにおける、本市と提案事業者との役割分担・責任範囲を詳細且つ明確に記載すること。
- エ 本業務におけるコミュニケーション手段を、課題管理や情報共有漏れを防ぐ観点から記載すること。
- オ プロジェクト責任者の業務経験や保有資格等を示す等、本業務を遅滞なく円滑に遂行するためのアピールポイントについて記載すること。

(6) 実施スケジュールについて

- ア 構築スケジュールを工程ごとに分かりやすく記載すること。また、提案事業者と本市の作業内容が明確になっていること。
- イ 職員の作業負担の軽減に留意し、検討されたスケジュールであること。

### 3 機能評価（デモンストレーション）

鴻巣市放課後児童クラブ入退室管理システムについて、デモンストレーションを行うこと。

### 4 費用見積書

「様式6 費用見積書」に、調達仕様書（各種要件含む）を満たすために必要となる費用を全て記載すること。

(1) 鴻巣市放課後児童クラブ入退室管理システム導入事業

鴻巣市放課後児童クラブ入退室管理システムを導入するために必要なすべての諸経費について記載すること。

(2) 貴社様式の見積書

「鴻巣市放課後児童クラブ入退室管理システム導入」の見積書（貴社所定様式を用い、代表者の押印があるもの）を提示すること。

貴社の提案を生かすため、仕様書に記載はないが、必要と判断される費用については、項目を明確にしたうえで追加し、すべて提示すること。